東京女子大学
理事会の皆様へ

2008 年 12 月 15 日
DOCOMOMO Japan 代表
鈴木博之(東京大学大学院教授)

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は、20 世紀の建築遺産の価値を認め、その保存を提唱することを目的とする国際的な非政府組織（NGO）である DOCOMOMO の日本支部です。

貴大学は、新渡戸稲造初代学長、安井てつ学監、A.K.ライシャワー理事の建学の精神に基づき、日本の建築界に大きな功績を残したアントニン・レーモンドのキャンパス計画と設計によって創建されました。DOCOMOMO Japan では、キャンパス内の一連のレーモンド建築すべてを日本を代表するかけがえのない建築「DOCOMOMO100 選」としてリスト・アップしております。

私どもは、本会が選定しました旧体育館を保存活用していただけないものかと保存要望書を提出しておりますが、耐震の上で懸念があるとお聞きし、耐震診断を行いました。その経緯と結果につきまして「旧体育館耐震診断報告書」にまとめ､11 月 19 日に原田明夫理事長に手紙を添付してお送りいたしましたが、理事の皆様にも是非ご覧いただきたく、理事長への手紙も同封してお送りさせていただきます。

大変恐縮でございますが、この体育館の存続に向けてご検討くださいますようお願い申し上げます。

敬具

問い合わせは下記へお願いします
DOCOMOMO　Japan 幹事長　兼松紘一郎
東京都■■■